

第9回 羽島市新庁舎建設委員会 会議要旨

日時	平成31年2月8日（金）午後1時30分から3時00分
場所	羽島市役所 本庁舎4階 委員会室
出席者	<p>〔委員〕 大野委員長、犬飼副委員長、木下委員、味岡委員、今井田委員、浅野委員、柳町委員、川合委員、安藤委員</p> <p>〔市関係者〕 事務局：橋本総務部長、入山新庁舎建設推進課長、黒田同課専門官、山田同課係長</p> <p>株式会社佐藤総合計画中部事務所ほか：5名 株式会社イトーキ中部支社：2名</p> <p>〔傍聴者〕 傍聴者1名（報道機関を含む）</p>
内容	<p><u>1 開会・あいさつ</u></p> <p>委員12名のうち、9名が出席。</p> <p>事務局より開会の挨拶。</p> <p>議事進行を委員長にお願いする。</p> <p><u>2 議題 （1）実施設計（案）について</u></p> <p>2-（1）-① 前回の新庁舎建設委員会での質疑に対する回答について</p> <p>事務局： 過去の震災において、施設の設備機器が破損し復旧できない被害が多々あったため、新庁舎ではどのような方針か、という質問について、当市の新庁舎は免震構造とする計画であり、地震発生時でも設備破損を起こさず、機能を継続できる構造計画であることを過去の震災の調査報告資料などからも確認でき、さらには、外部インフラ途絶の場合でも、バックアップ設備の適正運用により、庁舎機能を維持できる設計仕様になっていることの説明を行う。</p> <p>また、免震建物外の設備機器として、屋外に受水槽を設置する計画で、過去の震災の調査報告資料などを参考に作成した資料1を用いて、鋼板製一体型タンクの優位性について説明を行う。</p> <p>委員長： 事務局の議題説明に対して、ご意見があればご発言を求めます。</p>

委員：

受水槽タンクですが、一般的に使われているのは、ステンレスパネルタンクだと思います。鋼板製一体型タンクはあまり見かけませんが、最近開発されたものですか。また、採用実績はどのくらいありますか。

事務局：

鋼板製一体型タンクは、最近開発されたものではなく、どちらかというに関東圏に導入実例が多くあり、岐阜県や官公庁での導入実例もあります。また、資料1にもあるとおり、鋼板製一体型タンクは、過去の震災での水槽本体の破損事故がなく、耐震性が高いことを確認しています。ステンレスパネルタンクの方が、一般的なイメージはありますが、鋼板製一体型タンクは、ライフサイクルコストや実用面も考えて、総合的に優位性があるものと判断しています。

委員：

鋼板製一体型タンクでも、タンクの中身は衛生上問題ないですか。

事務局：

鋼板製一体型タンクは、加熱硬化型エポキシ樹脂による塗装仕上げで、衛生面に配慮しています。また、維持管理の面では、清掃対象部位として、ステンレスパネルタンクは、内面と補強部を清掃する必要がある一方で、鋼板製一体型タンクは、補強部材がなく内面のみの清掃でよい、ということからも、優位性があるものと判断しています。

委員：

基本設計で免震構造になっていますけど、液状化で庁舎が傾斜して使用不能にならないように液状化対策をしっかり行っていただきたいです。

事務局：

新庁舎建設にあたり、敷地内のボーリング調査を行い、液状化層や支持層となる地層の確認をしました。杭基礎により庁舎が傾斜することは基本的にはありませんし、液状化対策としても、必要な部分への地盤改良工事を検討していきます。

委員長：

鋼板製一体型タンクというのは、工場完成品だから安いのですか。また、工場完成品だと搬入に手間がかかりますか。

サイズが分かりませんが、計画されている建物が全部建ってもタンクの更新の出し入れは大丈夫ですか。

株佐藤総合計画：

工場完成品だからではなくて、材質により安価になります。また、適正な形に加工されますので、搬入にそれほど手間はかかりません。

受水槽タンクの設置位置は、新庁舎本体から離れていて、将来的な更新に問題のない動線計画になっています。

委員：

維持管理に関しては、鋼板製だと腐食が気になります。

榑佐藤総合計画：

金属はどうしても経年劣化するので、ステンレスも鋼板製も錆びないということはありません。鋼板製一体型タンクの内部に塗装はしますが、経年劣化するため、タンク自体の更新は必要になってきます。

2-(1)-② 現時点でのフロアレイアウトについて

事務局：

現時点でのフロアレイアウトについて、レイアウト図面(当日回収資料)を用いて説明を行う。

委員長：

事務局の議題説明に対して、ご意見があればご発言を求めます。

委員：

キッズスペースみたいな場所はどこにありますか。

事務局：

1階の市民ロビー南側中央部をキッズスペースとして計画する予定です。

委員：

市民から市役所に電話する時は、代表番号の1111にかけますが、市役所から市民に発信するとき、各課の発信番号が出ていないので、何課から発信しているのか分からず、折り返しの電話がしづらいです。

また、窓についてですが、二重ガラスとか日除けのブラインドなどは考慮されているのですか。

事務局：

新庁舎建設を契機として、発信番号が表示できるような対策が必要であると考えています。

また、窓については、複層ガラスという夏の日射熱の進入を抑え、冬の暖房熱の流出を抑えられる効果の高いガラス製品を採用することで環境負荷を低減し、また、ロールカーテンやロールブラインドなども、必要に応じて設置を検討します。

榑佐藤総合計画：

以前、窓ガラスについて、委員様より、飛散防止などの災害時の不安に関するご質問がありましたが、人がずっと滞在する執務室には、複層ガラスで環境負荷を低減したいと思っています。

一方、執務室以外の共用部となる特に北側については、委員様のご意見などを踏まえ、ガラスの種別を検討していきまして、ガラスを2枚サンドイッチして中間に幕を入れて、万が一、割れても飛散しないようなガラスというものもあります。そのあたりのガラスの種別などをこの実施設計の段階で検討させていただきたいと思っています。

委員長：

ぜひご検討いただいて、最新の技術に基づいた良い物を採用していただければと思います。

委員：

1階の子育て・健幸課の南側の通用口は職員用ですか。一般の市民も使える通用口ですか。

事務局：

この通用口は、職員動線からしか出られませんので、職員用の通用口になります。新庁舎の南側、保健センターの東側には、十数台分の駐車場を予定していますので、保健センターに用事がある方は、そちらに駐車していただければと思います。

委員：

保健センターは、健診になると十数人ではなく、何十人と来庁されます。しかも、赤ちゃんを抱いていると大変で、とても動線が悪く子供に優しいというわけでは無くなってしまいますので、そのあたりを少し考えていただきたいです。子供二人連れの人もありますし、雨が降ったらこの周りを歩くのは大変な事だと思います。保健センターの駐車場の問題を解消してもらわないと、使い勝手はとても悪いと思います。

事務局：

可能な限りご要望にお応えしたいのですが、スペースの問題もありますので、可能な限り駐車場のスペースをとりたいと考えています。セキュリティ上の問題などにより、新庁舎の通用口の数を制限していることをご了承いただきたいと思います。

委員：

保健センターに一番近いのは左側の連絡通路ですよね。その連絡通路から保健センターまでの間の通路に屋根を設置してはどうですか。

事務局：

限られた予算のなかご要望としては承りますが、設置しますとお約束できる状況ではないことをご了承いただきたいと思います。

委員：

子供に優しいという提案ですので、駐車場の確保は非常に重大だと思います。例えば、立体駐車場も含めて検討した結果、こんな理由だからやる、やらないというところまで踏み込んで検討していただきたいと思います。

委員長：

1階を駐車場にすると、洪水対策にも駐車場にもなる、という最初の段階ですので、どこまで戻って議論できるかという問題がありますので、できる限りのご検討をよろしくお願いします。

事務局：

可能な限り検討していきます。

委員：

福祉計画の中で、基幹相談支援センターを設置するということになりましたが、どのスペースになりますか。

事務局：

福祉課は、1階と2階への分離配置を計画しています。福祉関連業務は1階、生活援護関連業務は2階へ配置する計画です。基幹相談支援に関しては、福祉関連業務となりますが、スペースの問題もありますので、1階か2階のいずれかでの対応になろうかと思えます。

委員：

先ほどの通路への屋根などを付ける方向性についてほしくないと思います。附属構造物を付けると、その附属構造物への維持管理が大変になり、維持管理計画や耐久性などを考えていないことが多いからです。一方で、受水槽タンクは、優先度が高いと思うので、タンクにお金を使った方がいいのではないですか。新庁舎に関しては、優先度で必要なものを選ぶべきだと思います。

事務局：

皆様のそれぞれのお立場からのご意見がありますので、可能な限り検討をすすめ、ご理解をいただけるよう努めてまいりたいと考えています。

委員長：

ライフサイクルコストという形で、メンテナンスの費用なども考慮したうえで、トータルどちらが安くて安全なのか、ということをご検討いただければと思います。

2-(1)-③ 概要について

事務局：

実施設計の概要について、実施設計とは基本設計に基づき、工事の実施及び内訳明細の作成が出来る段階まで設計図書を明細化する設計作業であることを説明し、外観イメージについて、資料3を使用して説明を行う。

委員長：

事務局の議題説明に対して、ご意見があればご発言を求めます。

委員長：

それでは、次に移りたいと思います。

2 議題 (2) その他

2-(2)-① 先行工事等の詳細について

事務局：

先行工事等の詳細について、資料2を使用して説明を行う。

委員長：

事務局の議題説明に対して、ご意見があればご発言を求めます。

委員長：

それでは、次に移りたいと思います。

2-(2)-② 市民ワークショップ（レポートブック）について

事務局：

市民ワークショップ（レポートブック）について、説明を行う。

委員長：

事務局の議題説明に対して、ご意見があればご発言を求めます。

委員：

中学生や高校生のご意見の中で、一つでも採用されたものはありますか。また、どのようにフィードバックしていきますか。

事務局：

採用されているご意見もありますし、こんな考え方に基づいて考えなくてはいけないな、という気づきになりました。また、フィードバックに関しては、中学生に対して、我々からの出前講座を行いたいと考えています。

委員長：

この中で、ガラス張りの議場を設けてほしいと書かれていて、中高生か大人か分かりませんが、もし中高生なら行政に興味を持ってきて大変将来明るいなと思いました。実際どうなったのかは分かりませんが。

事務局：

ガラス張りの議場は正直難しいです。ワークショップに参加いただいた学生さんや市民意見交換会に来てもらった学生さんから、市民活用スペースについて、他の自治体でも公共施設を使って学生が活動したり、広く団体等に提供したり、市が市民活動に対し場所を提供することで、市民活動が活発になったり、市政に関心を持ってもらえたりするのでは、ということをご提案してくれました。そんな使い方もできるな、と参考にさせていただいています。

委員長：

小中学校、高校の社会勉強の一つとして、議会を傍聴してもらおうとか、中に入るのは気が引けるけど、ガラス張りで外から見るとか、そんな雰囲気があると将来を担う人がどんどん育つのではないかなと思いました。

委員：

新庁舎の進捗状況をホームページや広報等で定期的に発信していただくと、市民への意識付けになり、気にかけてもらえるのではないですか。

事務局：

新庁舎に関する事業の進捗状況は、ホームページや広報等で現在も定期的にお示しをさせていただいていますし、新庁舎建設など工事の進捗状況を含め、今後も定期的にお示しをさせていただく予定です。

委員：

羽島特別支援学校の時は、住民説明を含め、定期的な回覧を行うなど、皆さん興味を持って見守っておりました。現在、地元といい雰囲気になっていますので、新庁舎の進捗状況もPRしてもらいたいと思いました。

委員長：

以前の会議で、免震構造の場所を見学できるようにしてはどうか、というご意見もありました。環境に配慮した場所とか、議場とかまちづくりについて、どんな仕事をしているのか、ということをお子達に見せられるような庁舎にしていただけると、次の世代が引き継いでくれるのかな、ということをお子達から読み取れました。

事務局：

市民病院では、バックヤードツアーを開催し好評だったということで、新庁舎でも関心を持っていただけるような催しを検討していきたいです。

2-(2)-③ 次回の開催日程について

事務局：

今後の当委員会の開催予定ですが、次回は3月29日金曜日を予定させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

委員長：

それでは、これをもちまして、本日の委員会は滞りなく終了したことを思います。

3 閉会

以上